

第8回 国際学生フォーラム
災害から連帯へグローバルなネットワークの構築にむけて
2019年2月7日(木)～2月16日(土)

参加学生募集要項

本国際学生フォーラムは2011年の東日本大震災を契機に開始され、世界各地より学生を招待、天災や人災などの大災害発生時、世界の若者は何ができるかについて、活発な討論を続けてきました。今年度はそれをさらに発展させ、東アジア、そして世界がともに生きる道を模索します。今回は二度の世界大戦の教訓から半世紀をかけて欧州連合を築いたヨーロッパなどからも学生を招き、そこからの学びを得ながら、対立多き東アジアが様々な災難、困難、対立を乗り越え、ともに生きる道を模索します。

また、国際学生フォーラムではこのようなテーマに関する発表、討論、報告のほか、スタディツアーや交流を目的としたワンデイツアー等が行われます。

本フォーラム参加者は「グローバル化と言語教育1(1年生の場合は多文化交流実習3)」を履修、あるいは聴講し(※)、発表または運営業務に携わっていきます。(※1 参加方法を参照ください。)

参加にあたっては10月1日、または8日、15日16:40から文教1号館302号室で実施される説明会にご参加ください(履修登録は参加者が決定後、森山が一括して行います)。

1. テーマ

災害から連帯へグローバルなネットワークの構築にむけて

2. 趣旨と目的

本フォーラムは日本と世界の大学生がともに過ごしながらか、テーマに関する議論を深めることにより、グローバルな視点からグローバルな課題解決に取り組むことができる人材の育成を目的としています。発表では海外からの参加者は日本語、お茶の水女子大学の参加者は英語で行います。また交流時は日本語、英語に限らず、皆さんが学んできた言語、参加者の出身国の言語を積極的に使用することを奨励します。

3. 参加方法

「グローバル化と言語教育1」(2018年度後期集中、2単位、担当:森山新)

但し1年生は「多文化交流実習3」(2018年度後期集中、2単位、担当:森山新)

を履修登録(参加者決定後)し(※2)、以下を行います。またフォーラム終了後に報告書を提出します。

参加の条件:(1)フォーラム全日程に参加する

(2)ホスト校の学生運営スタッフ、バディとして積極的に活動する

(発表者に選ばれた者は英語でプレゼンテーションを行う)

(※1) 4年生、大学院生または、一部日程のみ参加の学部生については、聴講扱いとなります。また運営業務に参加した学生の内、希望者には「活動証明書」を授与します。

(※2) 参加希望者は、下記URL(P1one)から参加申込を行ってください。

<https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/P1one/4clxju/forum-in2018>



4. プログラムとスケジュール

2月7日(木)	チェックイン(国際学生宿舎ほか)
8日(金)	開講式・オリエンテーション・キャンパスツアー
9日(土)	学外活動Ⅰ:スタディツアー(例:都内震災関連施設見学)
10日(日)	発表準備・自由研修
11日(月)	国際シンポジウム1日目
12日(火)	国際シンポジウム2日目・全体討論
13日(水)	学外活動Ⅱ:東京一日ツアー
14日(木)	自由研修
15日(金)	閉講式
16日(土)	チェックアウト

※チェックイン、チェックアウト以外は変更する可能性があります。

5. 発表テーマ

内容:

地震、台風、洪水、酷暑、山火事など、世界各地で様々な災害が起こっています。日本でも最近、東日本大震災、西日本豪雨など、様々な災害に見舞われていますが、そのような時には、常日頃対立がありながらも、海外から多くの義援金が送られる姿を目にすることができました。国を超え、過去を超えたこのような連帯や協力が災害時だけでなく、常日頃から行うことはできないのでしょうか。

本フォーラムでは、未来を担う若者が集い、東アジアが、そして世界がともに生きる道を模索します。

今回は東アジア3か国、欧米4か国の学生が集います。

ヨーロッパからの学生たちには、二度の世界大戦という惨禍から半世紀かけて欧州連合を築いた様々な教訓を元に東アジアがともに生きるための提言をしていただければと思います。アメリカからの学生には、これまで東アジア、そして世界の平和に最も関与してきたアメリカの立場から、東アジアの共生を語っていただきます。

また東アジアからの参加者の皆さんは、ヨーロッパの共同体建設などからも学びを得ながら、対立多き東アジアがこれから、様々な災難、困難、対立を乗り越え、ともに生きる道を提言してください。

ヨーロッパと東アジアの学生が学びあいながらともに生きるための話し合いを行いながら、世界がともに生きるための知恵を得、連帯の輪を築いていきたいと思っています。

方法:

- ・本学参加者数名ごとに1つの発表を行う(使用言語は英語)。全2~3グループ程度。
- ・1グループ30分(発表20分、質疑応答10分)の発表を行う。
- ・発表資料はパワーポイントで用意する。

6. 海外参加予定大学

ワルシャワ大学(ポーランド) ストラスブール大学(フランス) ボン大学(ドイツ)
同徳女子大学(韓国) 釜山外国語大学(韓国) 大連理工大学(中国) ヴァッサー大学(米国)

7. お問い合わせ

フォーラム運営: 国際教育センター 井上貴恵・長塚尚子(info-forum@cc.ocha.ac.jp TEL:03-5978-5913 学生センター棟305室)

授業担当: 森山新(TEL:03-5978-5691)